

とやま国際工芸シンポジウム

平成28年9月3日(土) 13:15~17:30(開場12:45)

富山国際会議場 メインホール

入場無料 / 定員500名 ※事前申し込みによる整理券が必要です。

申し込み方法

ご希望の方はホームページの申込フォーム、またはFAXか郵便はがきに、
1.お名前、2. 郵便番号と住所、3. 電話番号(またはメールアドレス)を記入の上、
お申し込みください。後日、事務局より整理券(はがき)を郵送いたします。

申し込み締め切り 8月19日(金) 必着

申し込み・問い合わせ先

とやま国際工芸シンポジウム運営事務局(株式会社PCO内)
〒939-8063富山市小杉120 TEL.076-428-9166 FAX.076-428-9156

<http://www.pcojapan.jp/kogei/>

- ※整理券の発行は先着順となります。
- ※事前に定員に達した場合は、ホームページにてご案内します。
- ※託児サービスはございません。また、未成年の方も整理券が必要です。
- ※整理券をお持ちでない方の入場は13:05以降で空席がある場合のみとなります。ご了承ください。
- ※お預かりした個人情報は、本シンポジウムに係る事務連絡以外の用途には使用いたしません。

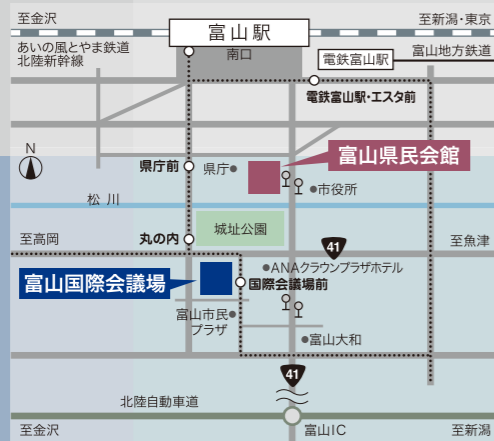
会場について

とやま国際工芸シンポジウム
富山国際会議場

富山市大手町1-2

とやまクラフト
富山県民会館

富山市新総曲輪4-18

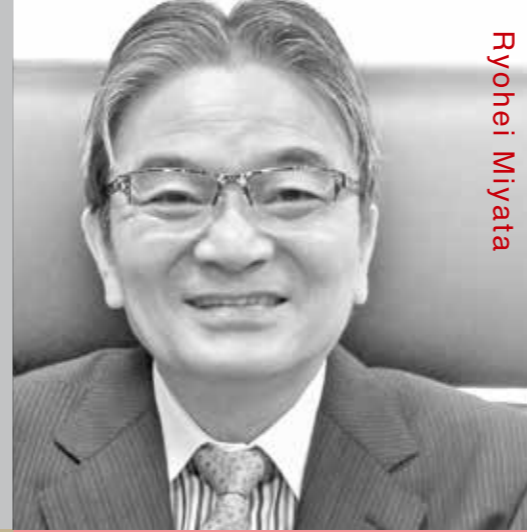


富山県美術館 平成29年オープン

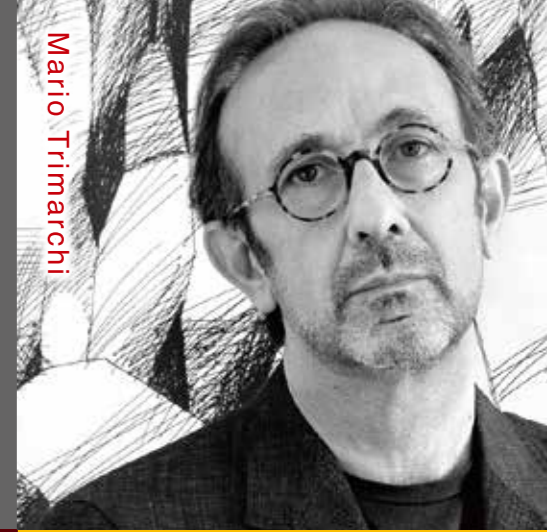
富岩運河環水公園に建設中の富山県美術館。設計を建築家の内藤廣氏、屋上遊具のデザインをグラフィックデザイナーの佐藤卓氏が手掛け、アートとデザインをつなぐ新しい空間として注目を集めています。来年春に一部開館、GWまでに屋上庭園遊具供用開始、夏後半から秋頃までに開館(開館記念展の開催)の予定です。



主催:富山県、文化庁
共催:(一社)富山県芸術文化協会、(公財)富山県文化振興財団、富山県教育委員会
後援:北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、朝日新聞富山総局、毎日新聞富山支局、北陸中日新聞、日本経済新聞富山支局、共同通信社富山支局、時事通信社富山支局、北日本放送、(N)富山放送局、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山エフエム放送、日刊工業新聞社富山支局、富山県ケーブルテレビ懇話会、富山県ケーブルテレビ協議会



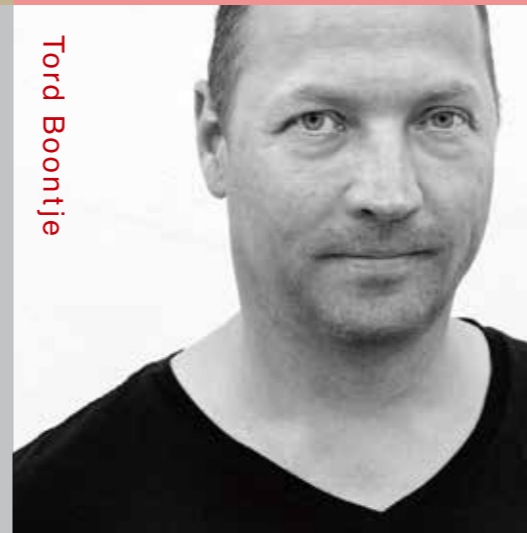
Ryohei Miyata



Mario Trimarchi

平成28年9月3日(土)
13:15~17:30(開場12:45)

富山国際会議場
メインホール
入場無料 / 定員500名(要予約)



Tord Boontje



Reiko Sudo

こえる つながる ひろがる つたわる



Katsuji Nousaku



Takakazu Ishii

とやま国際工芸シンポジウム

日本の【文化・アート・デザイン】が、世界の注目を集める現代。

伝統に磨かれ現代に継承される工芸は、新たな価値を持ち始めています。

工芸とデザインが刺激しあい、粋をこえ、つながり、ひろがり

多彩なアクションが日々生まれる富山に

日本やイギリス、イタリアから第一線で活躍するデザイナーや有識者を迎え、

世界からみた富山の工芸、今後の進むべき道について語ります。

プログラム

あいさつ

基調講演 『文化芸術立国』の実現に向けた文化力プロジェクトの推進 ～これからの工芸のあり方～

講師：宮田亮平

休憩

パネルディスカッション KOGEIの世界的な潮流を探る ～「工芸」のリーディングプロジェクトを富山から～

パネリスト：石井隆一 / マリオ・トリマルキ / トード・ボーンチェ / 須藤玲子 / 能作克治

モデレーター：桐山登士樹 富山県立近代美術館副館長



Ryohhei Miyata

宮田亮平

文化庁長官

新潟県生まれ。1968年東京藝術大学大学院美術研究科工芸専門課程銀金専攻修了。同美術学部講師、助教授を経て、1997年教授、2001年美術学部長。2004年同大学副学長を経て2005年より学長となる。2016年より文化庁長官。金工作家。代表作にイルカをモチーフにした「シュプリンゲン」シリーズがある。また立山博物館の天界奏楽洞に「羅浄音」「深弦音」「潮像音」が収蔵されている。



Mario Trimarchi

マリオ・トリマルキ

建築家/デザイナー/NABA教授

イタリア生まれ。1990年ドムスアカデミーのマスター・プログラムのディレクターに就任。2005～15年までジェノバ大学(UNIGE)、2013年よりミラノNABA(芸術アカデミー)にてブランドデザインの学位過程を指導する。1999年コーポレート・アイデンティティを手掛けるスタジオを設立し、企業や団体のためのプロジェクトとともに、自身のデザイン研究を行う。2014年アレッシーのコーヒーメーカー『OSSIDIANA』をデザインし、第24回コンパッソ・ドーロ賞、レッドドット・デザイン賞(独)、インターナショナル・デザイン・アワード銀賞(米)、DfA(Design for All Italia)のクオリティ・ラベルを獲得。



Tord Boontje

トード・ボーンチェ

デザイナー/元ロイヤル・カレッジ・オブ・アート教授

オランダ生まれ。アイントホーフェン・デザイン・アカデミーとロイヤル・カレッジ・オブ・アートで学び、1996年スタジオトード・ボーンチェを設立する。初期から大量生産品と実験的なワンオフの作品を手掛け、ヴィクトリア&アルバート博物館やニューヨーク近代美術館など主要な美術館の収蔵品となる。フランスへの移住を経て、2009年ロイヤル・カレッジ・オブ・アートのデザイン・プロダクツの学科長としてロンドンに戻る。2012年イーストロンドンにスタジオを移し最初のショップを開く。

Photo by Angela Moore



Reiko Sudo

須藤玲子

テキスタイルデザイナー/東京造形大学教授

茨城県生まれ。武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科、テキスタイル研究室助手を経て、1984年株式会社「布」の設立に参加。現在取締役デザインディレクター。2002年「NUNO WORKS」ブランドを立ち上げる。1994年NYロスコー賞、1999年JID部門賞受賞、2007年毎日デザイン賞ほか受賞。2005年英国UCA芸術大学より名誉修士号授与。2002年より東京造形大学教授。代表作にマンダリン オリエンタル東京(2005年)、東京アメリカンクラブ(2011年)、大分県立美術館(2015年)。

Photo by Shigeki Nakajima



Katsuji Nousaku

能作克治

株式会社能作 代表取締役社長

福井県生まれ。1980年大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。新聞社勤務を経て1984年能作に入社。2002年代表取締役役に就任し、翌年より錫100%の鋳物の製造を開始する。2004年オリジナルデザインの真鍮風鈴が松屋の「デザインコレクション」に選定。2007年表参道ヒルズ、イデアフレームスにて「能作展」開催。2012年東京丸の内「パレスホテル東京」に東京オフィス開設。2014年イタリアに「NOUSAKU Milano」開店。



Takakazu Ishii

石井隆一

富山県知事

富山県生まれ。1969年東京大学法学部卒業後、自治省に入省。静岡県総務部長、自治省財政課長、地方分権推進委員会事務局次長、総務省自治税務局長、総務省消防庁長官を務める。2004年11月より富山県知事。(2006年までの3年間、早稲田大学大学院客員教授)

同時開催

とやまクラフト ～未来をつなぐクラフト展～

富山県民会館 1階ロビー

9月3日(土)10:00～17:00 ・ 4日(日)10:00～16:00

富山県ゆかりの作家による作品展。伝統の上に新たなチャレンジを重ねる、未来につなぐ工芸作品を紹介します。また、現代のライフスタイルにあわせて進化を続ける富山のプロダクツを展示します。

ワークショップ

高岡銅器や高岡漆器のクラフト・五箇山和紙バッヂづくりなど。
※体験料がかかります

D&DEPARTMENT TOYAMA

9月3日(土)～30日(金)10:00～19:00

GALLERY

「とやま国際工芸シンポジウム」ゲストの仕事を紹介。世界の第一線で活躍するマリオ・トリマルキ氏、トード・ボーンチェ氏、須藤玲子氏の作品を展示します。

DINING コラボ企画 9月3日(土)～11日(日)

工芸品の食器やカトラリーで味わうお食事やスイーツが、期間限定で登場。使ってこそわかる工芸品の魅力をお伝えします。

とやまクラフト巡回展 ※一部作品のみ

9月22日(木・祝)～26日(月) in 高岡クラフト市場街 (大和高岡店1階アトリウム)

10月1日(土)～2日(日) in 五箇山和紙まつり (五箇山和紙の里)